

「HIV 感染者の長期予後に関する研究」

平成 30 年 5 月

平素は私ども感染免疫内科の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

HIV 感染者の長期予後を改善させるために表記の研究を進めることにいたしました。当院感染免疫内科に通院したことのある患者様、及び現在通院している患者様の診療情報を使わせていただきたいと思いますと考えておりますので、以下に概要を説明させていただきます。

【研究の目的と方法】

抗 HIV 薬の普及・改良に伴い HIV 感染者の長期予後が大変改善いたしました。

また、東京大学医科学研究所附属病院は、1986 年から HIV 診療を開始しておりまして、我が国で最も古くから HIV 診療を行なっている数少ない医療機関の1つです。

そこで、当院の診療録を用い、歴代の治療や、罹患疾患、死因などを調べることで、今後の HIV 感染患者様の診療に役立てることができると考えております。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科(旧エイズ診療部を含む)において 1986 年 1 月から 2018 年 5 月末までの間に診療を受けた患者様(既に亡くなった方々も含みます)の、診療情報を本研究に使わせていただくことです。

【個人情報保護の方法】

診療情報は、この研究のもとで付された符号により、引き続き厳重に管理し、研究に用います。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV 感染患者様の長期予後の改善につながることを期待できます。

不利益・・・保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究協力の辞退について】

本研究にご自身の試料及び診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の試料及び診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の承認を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への試料及び診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

連絡先:

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/附属病院感染免疫内科

古賀 道子

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話: 03-5449-5338, Fax: 03-5449-5427

E-mail: michiko@ims.u-tokyo.ac.jp